



SHOBEIKAN

※このテキストは「高校準備講座英語」の一部です。高校英語の「基礎のエッセンス」ですが、何の解説もなく、全て理解出来る様であれば、あなたの高校生活は割とうまいきます。「無理」と思ったら、相談してください。



高校生向け

英語が上達
するエッセンス



マスターして英語を理屈で読もう!

[1] 文型はたったの5つ!



どんなに長い英文でも、必ず5つの中にはいるよ!
SV/SVC/SCO/SVOO/SVOC

- 1) そのうち、どの文型にもあるのはSVだから、必ずSV (特に主節のSV) は発見しよう!
- 2) 主節のSVと従属節のSVを区別できるようになろう!
- 3) 高校生の英語は「主語 (主部といいます)」が長いケースが多いので、中学時代の様にするには発見できません。
- 4) 「動詞っぽいもの」を発見した場合、気をつける事! → 「これ、本当に動詞かなあ?」です。例えば、Tom studiedは「トムが勉強した」というSVの関係ですが、the subject studiedとあつたら、「教科が勉強する」ではなく、「勉強されている教科」という「過去分詞の後置修飾」ですよね。

[2] 接続詞と代名詞に注目しよう

- 1) 接続詞: ①等位接続詞 (and,but,or,so,for) がつないでいる物を常に意識しよう!
②従属接続詞の節を見つけ、主節と区別する癖をつけよう!

<文の構造>

- SV. (単文) ○SV,and SV. (重文) ○Because sv, SV. (副詞節を導く複文)
○I think that sv. (名詞節を導く複文) ○I have the idea that sv. (形容詞節を導く複文)
○V-ing, SV. (分詞構文) ○V. (命令文)

×SV, SV (前にも後ろにも接続詞なしで二つの文をつなげる事はできない!)

→(), SV.という穴埋めが出てきた場合、分詞構文などの「句」を使うしかない。

☆「句」と「節」の違い: SVの関係がある単語の塊が「節」、ない単語の塊が「節」。

- 2) 代名詞: 聞かれずとも、「正体」を発見しながら読む癖をつけよう!
→接続詞と代名詞のチェックは英語長文「読解」の一番のキーとなります。

☆「読解」と「和訳」の違い:

和訳は「日本語に変える事 (つまり文構造の順番を変える事) で、読解は「意味を理解する事」です。「和訳しなさい」という問題でもなければ、「意味を取りながら読む」だけで充分。むしろ、和訳をしながら読む行為は「時間の無駄」だと言えます。

[3] 文を長くする3つの要素

高校の英語は、「え? 1文で6行もあるの?」みたいな英文が数多く出てきますよね。でも大丈夫。

- 1) 「修飾」: 形容詞が名詞を、副詞が動詞や形容詞を修飾している。
- 2) 「挿入」: , , の間や、 - - の間はカッコで閉じる癖をつけよう!
- 3) 「並列」: 等位接続詞などで並んでいるグループをひとまとめにしよう!

3つをそぎ落とせば、とってもシンプルな文が現れます。逆に、この3つ以外で文を長くする事はできません!

[4]スラッシュリーディング



アメリカ人やイギリス人は、当然ながら前から順番に読んでいるよ！
次のルールに従って、前から順番に読む癖をつけよう！
ステーキだって、「大きな塊」では食べきれなくても、細切れにすれば食べられるよ！

- 1) 「SVの後ろ」
- 2) 「前置詞の前」
- 3) 「接続詞の前」
- 4) 「-ingやed (分詞) の前」
- 5) 「, , 「- -」の前後

「和訳しなさい」と言われたら順番を組み替える必要があるけれど、「意味を取る」程度であればこの技術を使うだけで楽勝で意味を把握できます。

[5]要約をしよう!

要約をしなさい、と言われると、間違えてあらすじを作ってしまう人がいます。
要約の能力は、英語だけでなく、現代文でもとっても大切です。
コツは、①②③の技術を使う事！どんなに長い文でも必ずシンプルにする事が出来るのです。

読み取った「要旨 (物語文の場合は「主題」)」は、チョコチョコっとメモしておきましょう。
その際、「●●は○○である」といった、シンプルな「主語」「述語」の組み合わせでまとめる事が大切です！

文全体の要約のコツ：論説文の場合、「話題提起」「一般論」の後、**逆接した後**「筆者の主張」「結論」と続くパターンが一般的ですので、「この主題について、一般的にはこう思われているが、実はこうなのである」という骨格に当てはめると楽に作れます。

1段落読み終わったら、必ず「振り返る」癖をつけよう！

[6]音読の癖をつけよう!

発音できない英単語は読めません。読めない単語にぶち当たると、読むスピードが落ちますよね？

ですから、「どんな英語でもある程度発音できるための土台」は必要なのです。
みなさんは「発音記号」を見るとそっぽを向いてしまいがちですが、実はそんなに難しくないので、いくつか扱ってみましょう (別紙)。

学校で配られた教科書の英文も、ただ黙って目を通すだけではなく、必ず声に出して読みましょう。間違いなく「理解度」がアップします (保証します)。

また、「読めない」英単語は止まらずにこだわらずに読み飛ばしてしまうのも、一つのコツです。

【7】速読ができる様になろう



みなさんに「黙読しなさい」というと、たいていの人はできません。口の中で、心の中で「英単語を読んでいる」という事はありませんか？これは黙読ではなく、「内読」と言います。人間のパーツの中で一番早く動かせるのは、()です。それを使って英文を読む癖をつけよう。

読むスピードを上げるという事は、すなわち「考える時間を増やす」という事です。

【速読のキーワード】

- ①読視野：一度に認識出来る文字の範囲。通常は3～4字程度ずつ認識すると言われています。
- ②視点滞留時間：認識した文字を意味として理解する時には止まって考えますね。
- ③視点飛躍：次の読視野に移動するスピードです。
- ④視点回帰：無意識のうちに、意味も無くさっき読んだ場所に視線が戻ったりする事はありませんか？
- ⑤音読と黙読と内読：意外とロスになるのが、口を動かしながら読むという事。自分では「黙読をしている」つもりでも、ブツブツ言っている、これがタイムロスになります。
- ⑥イメージ化：出て来た言葉をすぐにイメージとして捉えられるか？例えば英語の文章を読む場合、皆さんはわざわざ日本語に直して理解しようと考えますが、そんな事をするくらいなら、英単語を「イメージに換える」力があつた方が理解スピードはあがります。

【読むのが遅い人の特徴】

- ①読視野が「狭く」て、②視点滞留の時間が「長く」て、③視点飛躍のスピードが「遅く」て、④視点回帰の回数が「多く」て、⑤黙読といいながら口をブツブツ「動かして」いて、⑥イメージ化が「出来ない」またはそのスピードが「遅い」人。つまり、この「逆の人」になれば良いのです。

【読むスピードを上げるには？】

- ①読視野を広げる：一度に読める範囲を3～4文字から、12文字まで上げる事が出来たら、それだけで3～4倍になりますよね？また、「上から下」「左から右」に順番に読むのではなく、一度「一回分の読視野」として捉えた部分をグルグルと見回す様にチェックします。「目線で円を描く」イメージで。
- ②視点滞留時間を減らす：止まって考える時間を、例えば3秒から1秒に減らせただけで、3倍になります。
- ③視点飛躍のスピードを上げる：1秒を0.3秒に減らせただけで、3倍。
- ④視点回帰の回数を減らす：我慢して、日本語の文章であれば左に、英文であれば右と下に、視線が「引っ張られている」という気持ちを持って読む事。無駄な視点回帰の回数を10回から1回に減らしたら、10倍。
- ⑤ブツブツ言わない：唇は動かさない。口はつぐんだまま。これだけでタイムロスは相当減ります。
- ⑥イメージしながら読んで行く：言葉を言葉としての意味に変換するのではなく、論説文でも小説でも、「情景をイメージ」する訓練が必要です。例えば「chair」という単語を見て「椅子」と日本語にするヒマがあるくらいなら、「椅子の絵」を瞬時に想像出来た方が余程良いです。「Thank you」は「ありがとう」ではなく、「Thank you」なのです。瞬時に言葉や情景を「絵で想像する」訓練をしてみてください。逆に他の訓練方法として、道を歩いていて目の中に入って来た物を「言葉」に換える、なども行ってみてください。この作業は、読んだ所までの「段落」単位で、「つまり何を言っていたのか？」をイメージする作業にも有効です。
→速読の練習を、まずは「日本語の塊」でやってみよう！慣れてくると英語でもできる様になるよ！

訳せるかな？

※高校生になると、1文が長くなります。これで1文！

What should doctor say, for example, to a 46-year-old man coming for a routine physical checkup just before going on vacation with his family who, though he feels in perfect health, is found to have a form of cancer that will cause him to die within six months?



問1:この英文を訳してみよう。

問2:この英文は第何文型？

問3:主語と動詞を発見しよう。

英文法スーパーマップ

構文の骨格を問うグループ



高校英語の
文法構文の全て

<文型>

第1文型SV / 第2文型SVC / 第3文型SVO / 第4文型SVOO / 第5文型SVOC / 文型の転換

<文の要素>

平叙文 / 疑問文 / 命令文 / 感嘆文

<動詞と時制>

動詞の活用形 / 動作動詞と状態動詞
現在 / 過去 / 未来 / 現在進行 / 過去進行 / 未来進行 / 現在完了 / 過去完了 / 未来完了 / 現在完了進行 / 過去完了進行 / 未来完了進行 / 一般動詞とbe動詞 / 自動詞と他動詞

<受動態>

能動態と受動態の書き換え / 受動態の時 / 文型別の受動態 / 群動詞の受動態 / 受動態の慣用表現 (be pleased with など) / 受動態を作る一般動詞 (get / have / become など)

<分詞構文>

時 / 状態 / 理由 / 譲歩 / 付帯連続
独立分詞構文 / 否定の分詞構文 / 完了形の分詞構文 / 慣用的な分詞構文

<関係代名詞>

関係代名詞の制限用法 / 前置詞と関係代名詞 / 関係代名詞の省略 / 関係代名詞の制限用法 / その他の関係代名詞 (as / but / such as など) / 連鎖関係代名詞

<関係副詞>

前置詞 + 関係代名詞との関係 / 関係副詞の制限用法 / 非制限用法 / 複合関係代名詞

<比較>

比較変化 / 原級 / 比較級 / 最上級 / 書き換え

<仮定法>

仮定法過去 / 仮定法過去完了 / 万が一を表す仮定法 (were to / should) / 倒置によるifの省略 / ifを使わない仮定法の表現 / 仮定法の慣用表現 / 仮定法現在

<話法の転換>

時制の一致 / 平叙文の話法転換 / 疑問文の話法転換 / 命令文の話法転換 / 感嘆文の話法転換

<否定表現>

文全体の否定 / 語句の否定 / 部分否定 / 準否定 / 完全否定

<特別表現>

強調構文 / 倒置 / 同格 / 省略 / 挿入 / 無生物主語の構文 / 名詞構文

<否定表現>

文全体の否定 / 語句の否定 / 部分否定 / 順否定 / 完全否定

<句と節>

名詞節 / 形容詞節 / 副詞節 / 名詞句 / 形容詞句 / 副詞句 / 主語 / 目的語 / 補語 / 修飾語

英語の構文文法全てです。

入試では、この項目をしっかりと整理し、引き出しに綺麗にしまっておき、必要な場所から必要な知識を取り出すことが大切です。

皆さんは普段「細切れ」で学習していますので、「全ての概要」を見ることってあまりなかったでしょ？

長文読解の問題

図表を使った問題

会話文

タイトルの選択

目的や意図

筆者の主張

内容一致

表の完成

パラグラフ整序

ディスコースマーカー

論理展開に合わない語句の選択

論理展開に合う語句や文の挿入

指示後の内容

同義語多義語

要約

英文和訳

フローチャートの完成

文法の問題

択一式空所補充 (四択など)

和文英訳

記述式空所補充

自由英作文

言い換え

条件英作文

書き換え

整序英作文 (並べ替え)

類似の発音

類似のアクセント

正誤判定

聞き取り

品詞の働きを問うグループ

<助動詞>

助動詞の種類と性質の違い
can/may/must/will/shall/need/dare
/ought to/used to/had better/would/
should/助動詞+完了形/助動詞の慣用表現
(cannot too/may well/may as well/
may as well A as B/would rather/would
like toなど)

<不定詞>

名詞的用法/形容詞的用法/副詞的用法/
to不定詞と原形不定詞/to不定詞の意味上
の主語/to不定詞の否定形/代不定詞/疑問詞+to不定詞/to不定詞の完了形、進行形、受動態/It-for(of)-to/too-to

<動名詞>

動名詞と意味上の主語/動名詞の完了形、進行形、受動態/動名詞とto不定詞の違い/動名詞の慣用表現

<分詞>

形容詞と分詞/分詞の限定用法/分詞の叙述用法(主格補語)/分詞の叙述用法(目的格補語)/分詞の慣用表現

<前置詞>

前置詞と名詞の修飾/時を表す前置詞/場所を表す副詞/二重前置詞/群前置詞/成句を作る前置詞

<接続詞>

等位接続詞 (and/or/but/so/for) /従属接続詞(名詞節/形容詞節/副詞節) /間接疑問文/同格

<名詞>

名詞の種類/可算名詞(普通名詞/集合名詞)/不可算名詞(抽象名詞/物質名詞/固有名詞)/名詞の複数形/名詞の格/

<冠詞>

特定の定冠詞/不特定の不定冠詞/冠詞の位置/冠詞の省略/冠詞の慣用表現

<代名詞>

人称代名詞/所有代名詞/再帰代名詞/itの特別用法/指示代名詞/疑問代名詞/不定代名詞

<形容詞>

形容詞の種類(数、様子、色、状態など)/形容詞の語順/限定用法と叙述用法/数量形容詞/数詞/日付や年号/

<副詞>

副詞の位置(形容詞/自動詞/他動詞/頻度を表す副詞/文修飾での違い)/群動詞を作る副詞/疑問副詞/接続副詞

不定詞の名詞的用法/動名詞/名詞節/名詞句/代名詞/

前置詞

接続詞

不定詞の形容詞的用法/現在分詞/過去分詞/形容詞節/形容詞句/関係代名詞節

名詞

動詞

時制の変化/群動詞/助動詞

形容詞

副詞

副詞節/副詞句/不定詞の副詞的用法



SHOBIKAN